

# 令和6年度補正予算に係る新規事業採択時評価結果一覧

○政府予算の閣議決定時に、個別箇所です予算措置を公表する事業等（令和6年8月に公表済み）の再掲

## 【船舶建造事業】

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	供用後の 維持管理 費 (億円)	評 価	担当課 (担当課長名)
3,500トン型巡視船 (PL型)1隻建造 海上保安庁	188	98	整備しようとする3,500トン型巡視船は、海上保安業務の遂行に必要な船体性能、監視探証能力、制圧能力、意思伝達能力、情報処理能力等を有していることから、我が国周辺海域における海洋権益の保全、治安の確保、海難救助、海上防災等の事案対応体制等の強化を図ることができる。	海上保安庁 装備技術部 船舶課 (課長 梶田 智弘)

・ 供用後の維持管理費は各耐用年数にかかる費用を現在価値化したものである。

## 巡視船艇整備事業 評価書

新規事業採択時評価

令和7年度					
事業名(箇所名)	3,500トン型巡視船(PL型)1隻建造	担当課	船舶課	事業主体	国土交通省 海上保安庁
		担当課長名	梶田 智弘		
事業内容	3,500トン型巡視船(PL型)1隻の建造及び就役				
配備管区及び主な活動海域	調整中				
整備期間	開始	令和6年度	完了	令和10年度	
総事業費(億円)	約188億円				
運用開始年度	令和10年度				
耐用年数	25年				
本事業に関連する事業					
政策(施策)目標	政策目標:安全で安心できる交通安全の確保、治安・生活安全の確保 施策目標:船舶交通の安全と海上の治安を確保する				
事業の効果分析					
(1)必要性・緊急性	<p>①必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尖閣諸島周辺海域に來航する中国海警局に所属する船舶の大型化・武装化・増強が確認される中、これらに対応できる3,500トン型巡視船を整備する必要がある。</li> <li>・海難救助や海上犯罪の取締りといった普遍的な海上保安業務は、全ての巡視船艇に共通する基本的業務であるが、3,500トン型巡視船は、耐航性、動揺安定性、長期行動能力を持つことから、海洋権益の保全、治安の確保、海難救助、海上防災等の海上保安業務全般を担う主力船型であることから整備を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>②緊急性</p> <p>尖閣諸島周辺海域における中国海警局に所属する船舶の活動の増加に対応するため、海上保安能力強化に関する方針に基づき、尖閣領海警備体制の強化を進めることは急務である。</p>				
(2)事業の効果	<p>本事業で3,500トン型巡視船を整備することにより、期待される業務上の効果は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 耐航性・動揺安定性、長期行動能力、速力性能等の船体性能を得ることが出来る。</li> <li>② 昼夜を問わない広域的な監視探証能力を得ることが出来る。</li> <li>③ 厳正かつ的確な法執行活動が可能となる制圧能力を得ることが出来る。</li> <li>④ 付近通航船舶に対し、昼夜を問わず視覚的に意思伝達ができる能力を得ることが出来る。</li> <li>⑤ 陸上部署、他の船艇、航空機との情報共有及び高い情報処理能力を得ることが出来る。</li> <li>⑥ ヘリ甲板を有することにより、ヘリコプターとの連携による監視探証能力、搜索救助能力、輸送能力を得ることができる。</li> </ol>				
(3)主たる効果の抽出	整備しようとする3,500トン型巡視船は、海上保安業務の遂行に必要な船体性能、監視探証能力、制圧能力、意思伝達能力、情報処理能力等を有していることから、我が国周辺海域における海洋権益の保全、治安の確保、海難救助、海上防災等の事案対応体制等の強化を図ることができる。				
事業の総合評価	事業内容及び評価結果が適当であると判断。				

### 【3,500トン型巡視船(PL型)】

